

迎古夢旅 4538 : 7月の北海道・積丹半島② 214

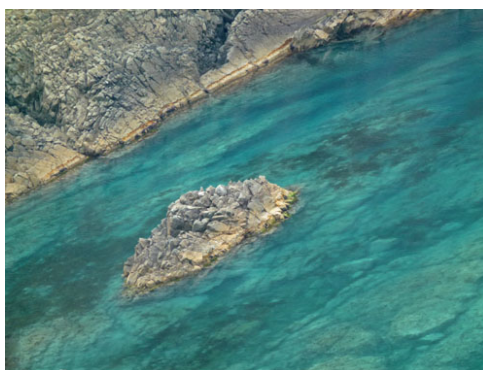
しゃこたんはんとう
積丹半島、地名の由来は、アイヌ語の、シャク・コタン（夏の村）

日本海に向かって突き出ている、第一印象は、海の色・ブルーの美しさが、際立っていた。

社員に、余市出身者がいた。ふるさと故郷自慢を聞かされたものだ。

今回、ニッカウイスキー工場も見学後、断崖絶壁と深い青色の日本海との出会い。

時間や光の加減で、見え方が違う。表情いろいろ。見事なものである。



突然だが、メキシコのカリブ海をひとり旅。目撃したその見事な青い海と遜色なし。

しかし、断崖絶壁がつづく、積丹半島、海辺までアクセスができない。

画像記録が、今ひとつの結果になったが、見事なものである。

前回、訪ねた時、記録しておいたら良かったと、後悔している。今回の画像記録は、下記。

西オーストラリアで記録した、インド洋の青色でもない。積丹の海も素晴らしい。

光の加減、光の差し込みで、微妙に変化する積丹の海。至福の時間。

